

21世紀の森公園周辺エリア 魅力向上推進計画策定業務

概要版

令和5年3月

名護市



21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進計画策定業務 概要版

-目次-

| | |
|---------------------------|----|
| 【第1章】業務概要 | 1 |
| 【第2章】現況把握 | 2 |
| 【第3章】敷地分析 | 3 |
| 【第4章】計画内容の検討および設定 | 4 |
| 【第5章】基本計画図の作成 | 9 |
| 【第6章】与条件の細部検討 | 10 |
| 【第7章】諸施設の検討および設定 | 11 |
| 【第8章】設計図の作成 | 14 |
| 【第9章】概算工事費の算出 | 17 |
| 【第10章】撤去等方針検討及び関係図の作成 | 18 |
| 【第11章】インクルーシブデザイン有識者ヒヤリング | 19 |
| 【第12章】アンケート調査 | 20 |
| 【第13章】先進地視察 | 23 |

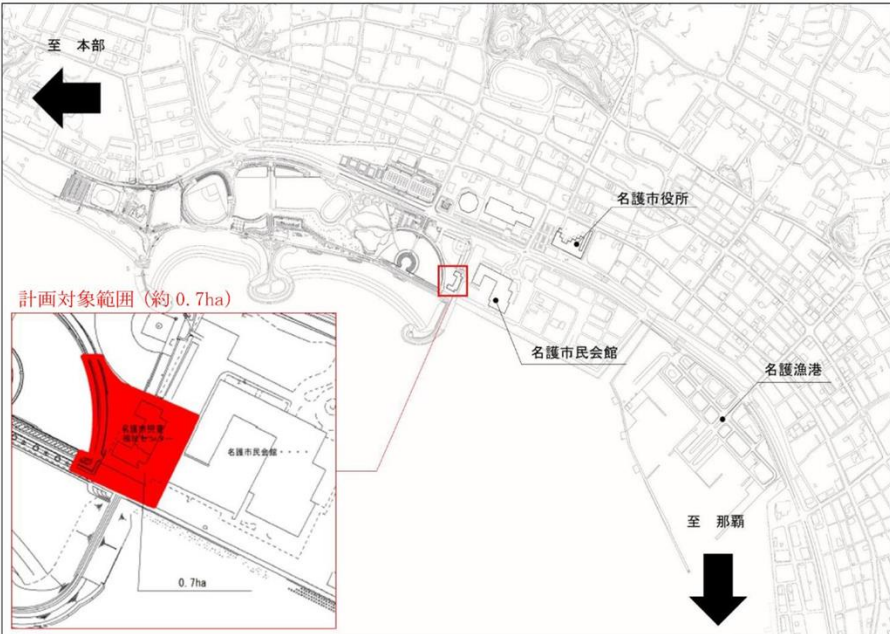


【第1章】業務概要

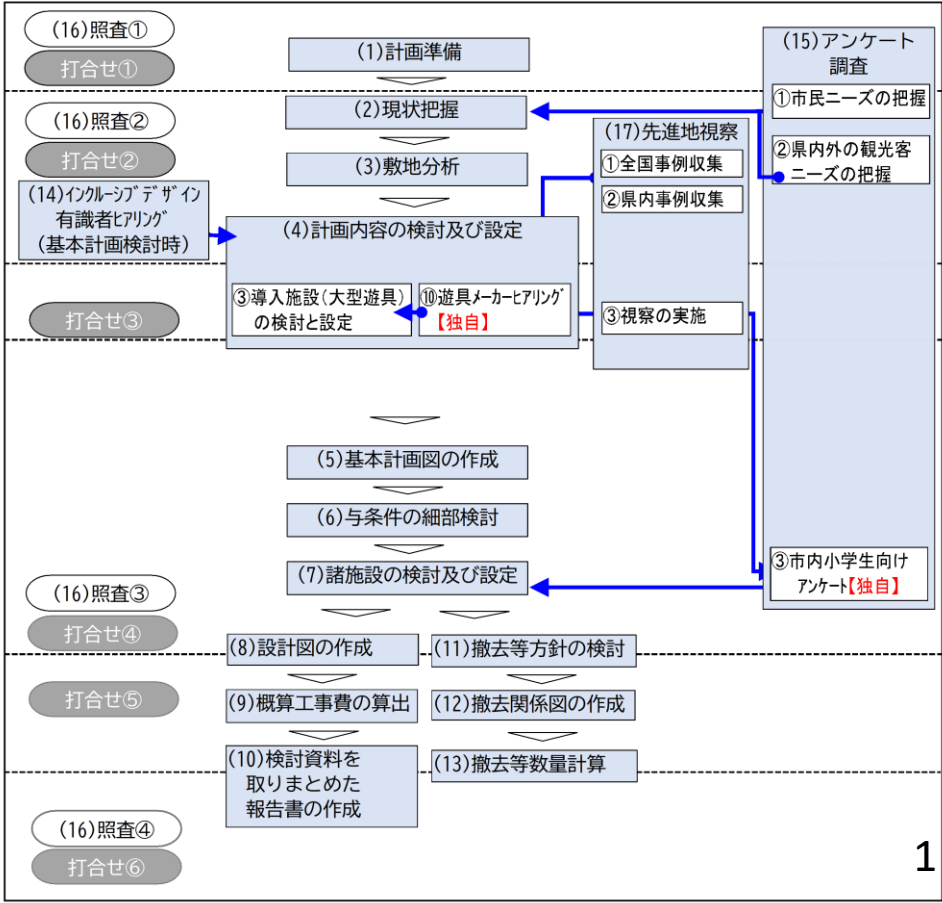
■業務目的

本業務は、令和2年度に策定した名護湾沿岸基本計画を基に、「21世紀の森公園周辺エリア」の取組の一環として、県内外からの来訪者にとって魅力的な施設（大型遊具）の追加機能を導入することで、公園周辺エリアの活性化や県内外からの来訪者の増加により、名護市における観光振興に寄与することを目的とし、対象地に求められるニーズ等を明らかにした上で、基本方針および導入する施設（大型遊具）の内容・概略規模を設定するとともに、景観・環境保全・管理運営等の概略検討、土地利用（空間構成）および動線を定め、設計条件との整合を図りながら、骨格となる施設（大型遊具）の選定、設置について計画の策定を行う。

▼本業務の対象地



▼業務項目・業務実施フロー



【第2章】 現況把握

■ 計画条件の把握と整理

・令和4年度10月時点では、児童センターは解体済み、サッカーラグビー場は整備中である。

■ 上位関連計画や各種関連資料の収集と整理

【名護湾沿岸基本計画（令和3年3月）】

- ・実現に向けた戦略：潜在の魅力向上
→名護湾沿岸のロケーションや資源を楽しむ時間を過ごせる場を提供し、来訪・定住の魅力を高める。
- ・整備計画（中期）には、レクリエーションゾーンの充実として、「大型遊具の整備」が示されている。

▼名護湾沿岸基本計画 整備計画（中期）



●レクリエーションゾーンの充実
・カフェ等飲食施設の整備
・水遊び場の整備
・大型遊具の整備 など

■ 現地調査

- ・視点場①は、観光客も含め利用者の多いビーチ付近であり、名護市の主要な景観要素である名護城他背後の山々と一体的にみられる視点であることから、見え方に配慮した施設整備を行うことが望ましい。
- ・自然景観の主要要素である名護湾への対象地からの眺望は、高低差や高木により遮られており、眺望の活用にあたっては対策が必要となる。

■ 自然・社会・人文・景観等の整理

- ・名護湾をはじめとした周辺の自然環境との触れ合いや利活用、人工物と自然環境の調和が求められている。
- ・スポーツや健康づくりに取り組むことができる場を充実することを通じ、地域のコミュニティ形成や市民・来訪者等の交流促進に寄与することが求められている。また、21世紀の森公園の魅力を高めていくことで、観光客等来訪者を含め、名護への愛着を醸成し、滞在や定住の促進に寄与することが求められており、その過程においては官民連携による施設・環境整備が期待されている。
- ・名護湾やビーチなど水辺の景観の活用と保全が求められている。また、対象地を含む21世紀の森公園周辺としては、背後の山々との景観の連続性にも配慮することが求められている。



視点場①



対象地から名護湾への眺望

【第3章】敷地分析

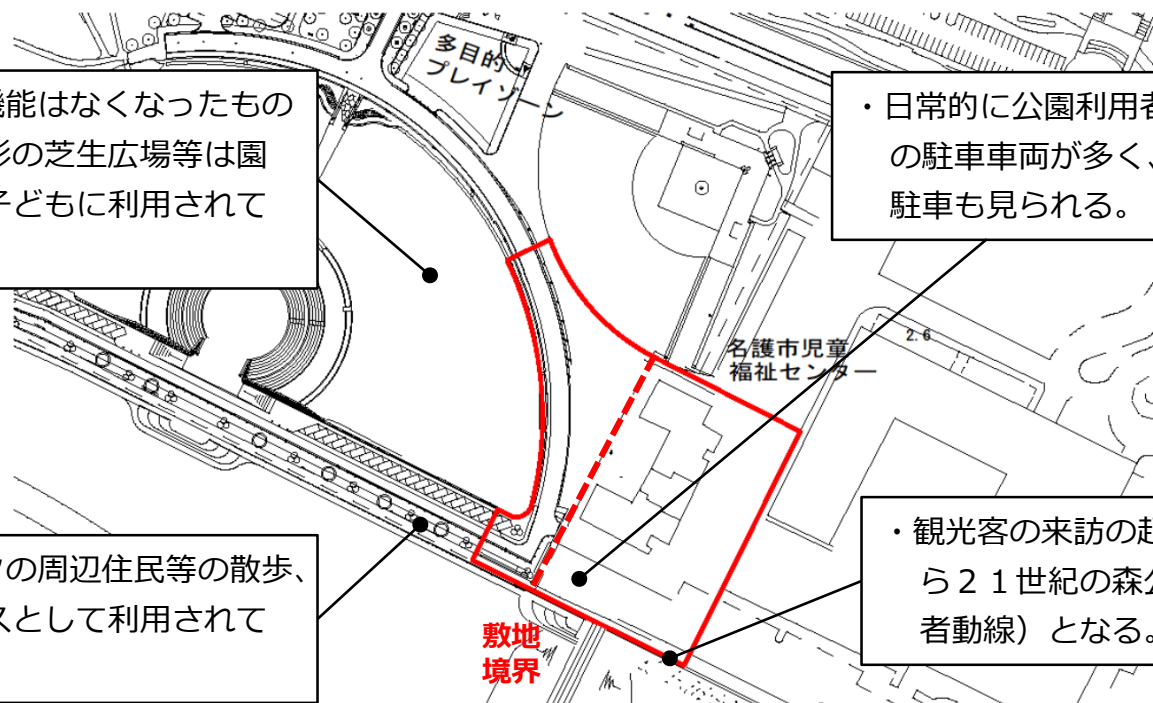
■ 現状

・児童センターの機能はなくなったものの、隣接する扇形の芝生広場等は園児の団体利用等子どもに利用されている。

・日常的に公園利用者や市民会館利用者の駐車車両が多く、一部園路上への駐車も見られる。

・海岸沿いは、朝夕の周辺住民等の散歩、ジョギングコースとして利用されている。

・観光客の来訪の起点となる名護漁港から21世紀の森公園への入口（歩行者動線）となる。



■ 検討にあたっての方針

- ・大型遊具のスペースを広く確保。
- ・子育て世代が利用しやすい空間を確保。
- ・計画対象地内に駐車場を整備。
- ・対象地への既存動線（4カ所）への接続を維持。
- ・官民連携（P-PFI等）を想定した飲食施設等のスペースは対象地以外の公園区域等に想定。

■ 検討にあたっての配慮事項

- ・現在の公園の基本デザインである扇形の広場と芝生沿いの水路、石積み、園路は残す。
- ・少年野球場付近は打球が飛んでくる恐れがあり、利用者が滞留するスペースの配置は避ける。
- ・対象範囲は周囲より高さが低く、冠水箇所があるため、計画高を設定する際は配慮が必要。

【第4章】計画内容の検討および設定

■基本方針

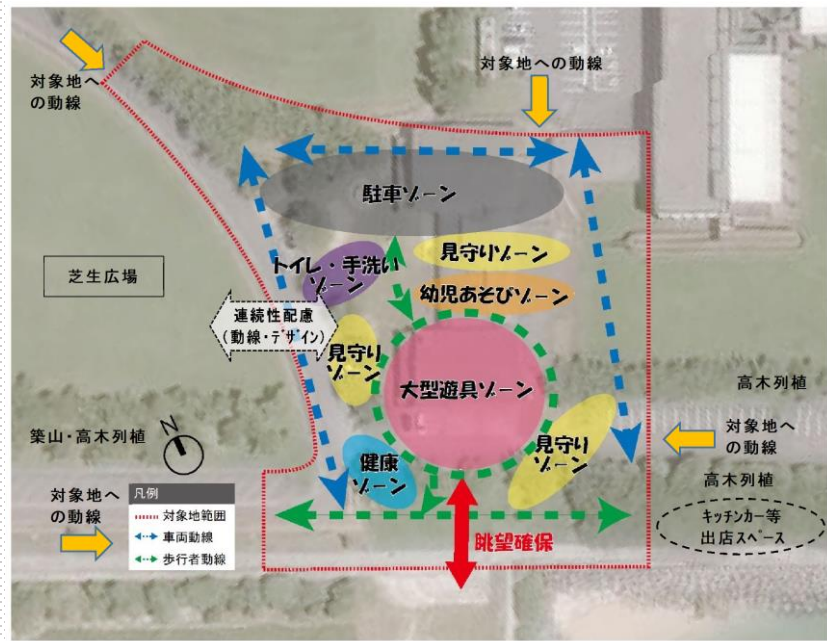
| | |
|-------|--|
| コンセプト | 市民と観光客（県内外）、子どもと大人それぞれが、名護の美しい自然環境を感じながら楽しい時間を過ごす、交流が生まれる居心地の良い空間の創出 |
|-------|--|

| | | |
|-------|--------------|--|
| 観点別方針 | ①主な導入機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具（大型遊具他）、見守りスペース（休憩施設含む）、駐車場、トイレ・手洗い |
| | ②景観形成 | <ul style="list-style-type: none"> ・対象地内から名護湾への眺望を確保。 ・21世紀の森公園の既存の機能やデザインとの連続性に配慮。（芝生広場との連続性、地形や植栽の連続性など） ・大型遊具等大規模な施設は周辺との景観調和に配慮。 |
| | ③子どもの遊び場 | <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別で遊べるよう、大型遊具（児童メイン）を配置するスペースと幼児向け遊具を配置するスペースを確保。 |
| | ④見守りスペース | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具で遊ぶ子どもを快適に見守れるよう、遊具の周囲に屋根付きの見守りスペース（ベンチ等休憩施設含む）を配置。 |
| | ⑤施設配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・車両が通行する園路と接する部分は施設・柵類を配置し、子どもの飛び出しを抑制。 |
| | ⑥インクルーシブデザイン | <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもも他の子どもと一緒に遊ぶことができる要素を設ける。 ・遊具や見守りスペースへのアクセシブルルート（園路等）はユニバーサルデザインに配慮。 ・見守りスペースから対象地内を眺めた際に死角を減らすよう配慮。 |
| | ⑦交流促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等の日常的な散策ルートに接する場所として、多世代の方に利用され、地域内外の交流につながるよう配慮（健康遊具の設置等） |

【第4章】 計画内容の検討および設定

■ゾーニングの検討と設定

- 対象地への4箇所の動線を繋ぐため、車両動線を確保する。また、海側の眺望確保のため、歩行者動線は南側とする。
- 大型遊具ゾーンをエリアの中心に配置し、子ども達が安全に遊べるよう、対象年齢に応じたゾーニング分けとする。
- 大型遊具ゾーン及び幼児あそびゾーンを囲む形で、見守りゾーンを配置する。
- 海側への眺望確保や、遊具利用者の安全性確保のため、エリア北側に駐車場を配置する。
- 健康遊具を設置する健康ゾーンは、堤防側でのウォーキング利用でも使ってもらえるよう、エリア南側に配置する。
- 民間出店スペース及びキッチンカー出店スペースは、対象地エリア外で確保する。



■需要圏域・利用者層・利用者数の検討と設定

- 市民へのアンケート調査結果より、需要圏域を「名護市」及び「県内の北部エリア及び中部エリア」として設定した。
- 市民及び県内外の観光客へのアンケート調査結果より、市内の利用者層を「名護市内の30代・40代を中心とした子ども連れの方（50代・60代の子ども連れの方も対象）」、市外の利用者層を「名護市外から来訪する30代・40代の子ども連れの方」として設定した。
- H26国調査における地区公園利用者数の調査結果を用いて、対象地の利用者数を「年間約6万人」として設定した。

【第4章】 計画内容の検討および設定

■ アクセスや動線の検討と設定

- 対象地への広域アクセスルートは、車両では市民・観光客ともに、国道58号から公園中央部の車両入口、歩行者では地域住民・観光客が沿岸部の歩行者動線からのアクセスルートが想定される。



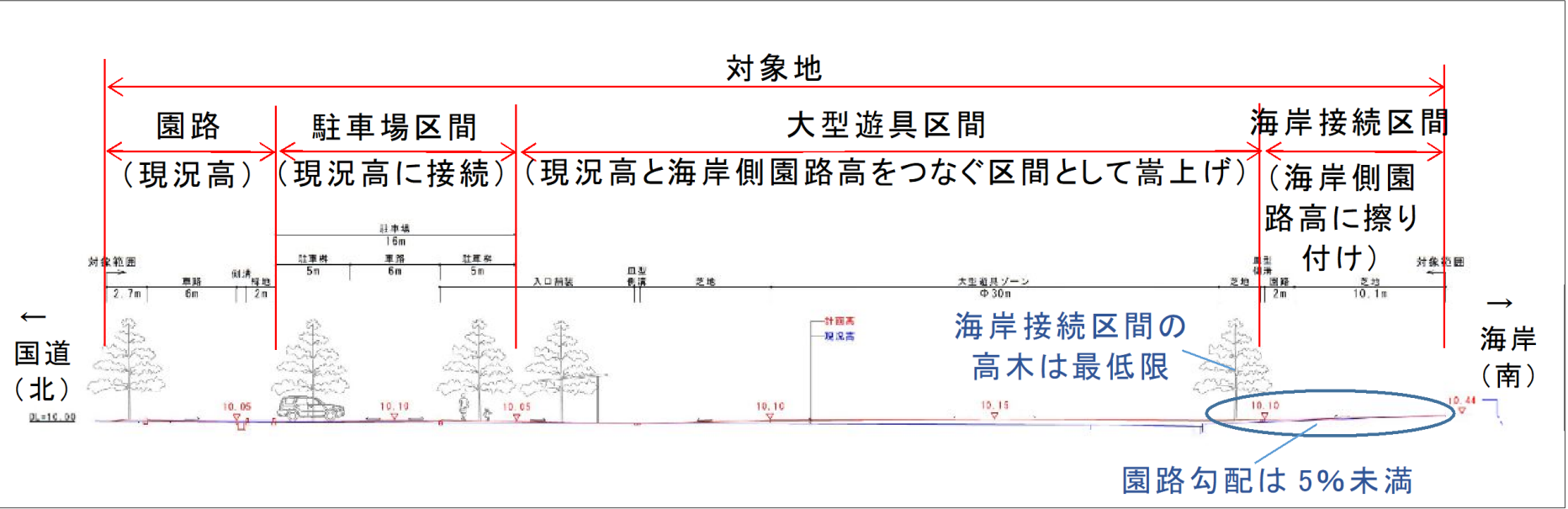
【第4章】 計画内容の検討および設定

■ 環境の保全と創出に関する検討と設定

- 少年野球場側の既存樹木は、北風対策として可能な限り保全するとともに、夏季の日差し対策として既存高木（コバテイシ）は、計画に影響のない部分は存置する方針とする。
- 降雨対策として芝地や透水性舗装等を用いて、雨水の地下浸透を促し、水たまりの解消や地表面温度の上昇を緩和する取り組みを行うこととする。

■ 空間構成の検討と設定

- 海岸側との一体的な人中心の空間を形成する際、対象地と海岸側園路の高低差があることから、南北方向の空間構成は、駐車場区間と大型遊具区間、海岸接続区間の大きな3つの区間で高さを解消する空間構成とする。

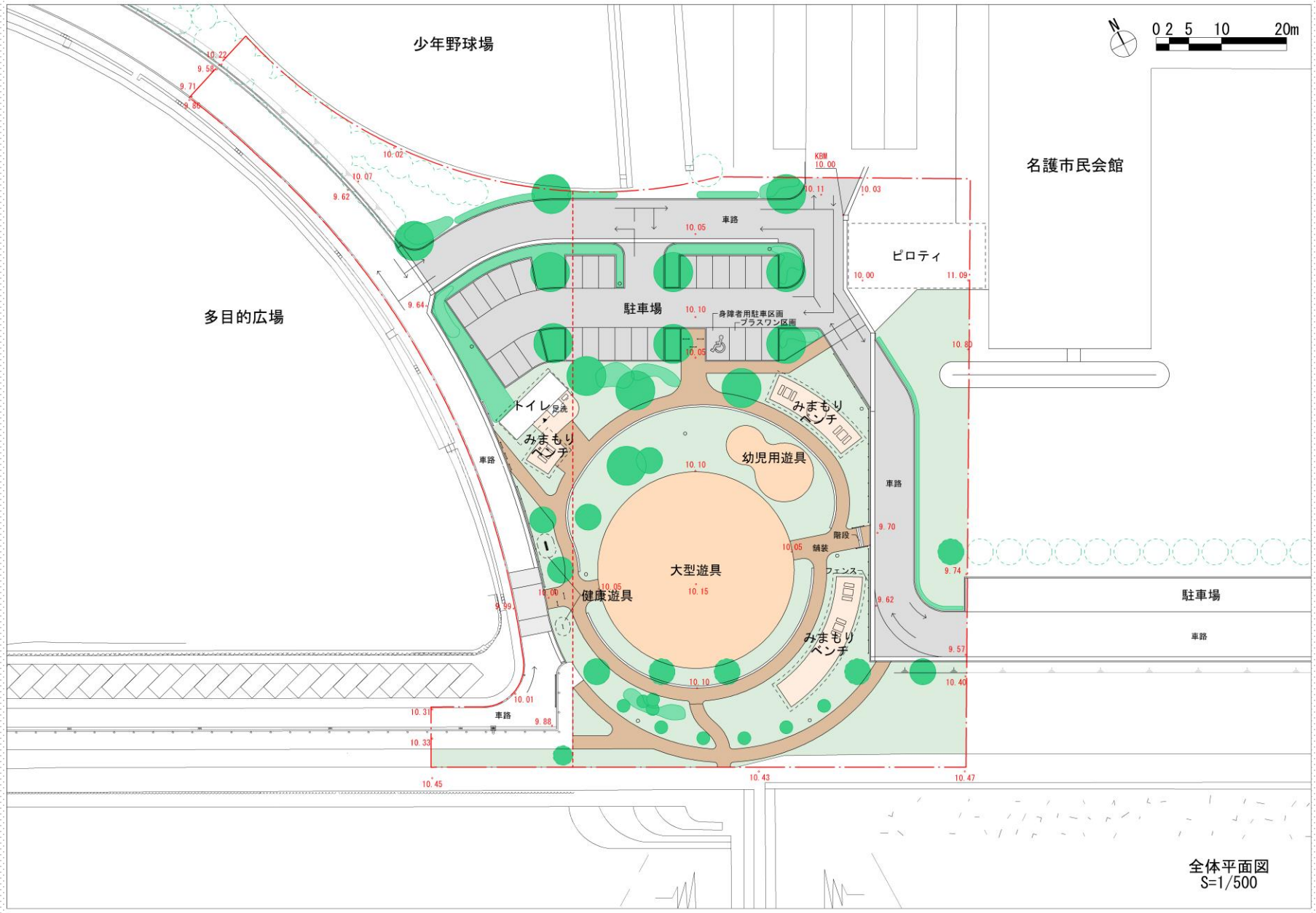


【第4章】計画内容の検討および設定

■メーカーヒアリング結果（5社から提案）

| | 株式会社コトブキ | タカオ株式会社 | 内田工業株式会社 | 株式会社中村製作所 | 株式会社都村製作所 |
|--------------|---|---|--|---|---|
| パース |  |  |  |  |  |
| 特徴 | ハンディキャップのある子どもいない子どもみんなが遊びを通して海に親しみを感じてもらおう遊び場。 | 児童用「美ら海の森」と幼児用「よちよちの森」をメインとした、名護湾の眺望を楽しめるシンボリックな遊び場。 | 「ガジュマルマンション」子ども達がキジムナーになりきって、ガジュマルマンションで遊ぶことができる。 | 爽やかなカラーリングと、海を連想させる生き物等を随所にちりばめた遊具広場。 | 目の前にそびえ立つ、沖縄の名建築の一つとして数えられる名護市庁舎をモチーフにした複合遊具。 |
| 名護湾への眺望 | 高さ約8.5mのタワー型複合遊具。灯台の最上階は展望台として名護湾の眺望を楽しむことが可能。 | 高いデッキからの名護湾の眺望は話題性を呼ぶとともに市の魅力向上に貢献。 | 螺旋階段で登れるメイン展望台は、保護者も一緒に眺望を楽しむことが可能。 | 最大デッキ高さが約6mであり、透過性のあるパネルや格子状のフェンスで困っているので、眺望可能。 | 最高到達部、高さ10mから名護湾の眺望を望むことが可能。 |
| 景観調和 | 海の世界に溶け込む遊具をテーマとして、海の生き物、波のうねり、シンボリックな灯台をモチーフとした。 | 近隣の公園にはない子ども達の感性を刺激するデザイン。自然豊かな景観に馴染むよう、色彩に配慮。 | テーマは巨大ガジュマル遊具なので、景観を損なうことなく調和する形状・配色の遊具としている。 | 名護湾に広がるエメラルドや青を基調としたデザイン。 | 近隣の名護市役所に代表される様な沖縄県ならではの建築風景を模したシンプルなデザイン。 |
| 発達年齢に応じた遊び | 児童向けゾーンと、幼児向けのゾーンを明確に分けることで動線の交錯を避け、安全に遊ぶことができるように配慮。 | デッキ高さによって遊ぶの難易度が変化。 | 幼児・児童のエリアが設けられ、多種多様な遊具により、誰もが自分に合った遊具を選ぶことが可能。 | 児童用遊具・幼児用遊具を分けて設置。 | 児童・幼児を中心に多世代の子供たちが集える遊具施設。 |
| 障害のある子どもへの配慮 | インクルーシブ遊具を取り入れている。（幼児ゾーンの「コージードーム」「ベッドジャンパー」等） | インクルーシブ遊具を取り入れている。（五感を刺激するパネル遊具、車イスから移乗しやすい階段等） | ユニバーサル遊具(音系遊具、視覚系遊具、触覚系遊具等)を設置。 | インクルーシブ遊具を取り入れている。（児童も利用可能な幼児用遊具） | インクルーシブ遊具を取り入れている。（車椅子の方も利用できるスロープ、ロングスライダー等） |
| メンテナンス | 全ての部品を国内に在庫を確保。 | 既製品パーツも、すべて在庫を確保。 | 耐候性ある素材を使用。輸入パーツは国内に確保している。 | 遊具を構成するアイテムは国内生産のもの。 | ほぼ全ての材料が国内調達。 |
| ランニングコスト | 保証期間30年のアルミ支柱を主要構造部材としている。 | 塩害対策として高耐久性素材を使用。使用頻度が高い昇降部は、溶融亜鉛メッキ仕上げ。 | メンテナンスのかわりにくい本体構造。 | 鋼材の耐食性を向上するため、下処理として溶融亜鉛メッキ処理を施している。 | 主材はスチール製（亜鉛メッキ）のため、抜群の耐久性を発揮。 |
| 差別化 | インクルーシブデザイン。 | シンボリックな大きなルーフ。 | オリジナルネットタワー遊具。 | 日陰を多く取り入れている。 | 名護市ならではのデザイン。 |
| 費用 | 工事費：約1億5千万円 ランニングコスト(20年)：785万 | 工事費：1億4千万円 ランニングコスト(20年)：505万 | 工事費：2億7千万円 ランニングコスト(20年)：1,600万 | 工事費：1億2千万円 ランニングコスト(20年)：533万 | 工事費：2億8千万円 ランニングコスト(20年)：335万 |

【第5章】基本計画図の作成



基本計画図

【第6章】 与条件の細部検討

■ 与条件の基本計画との把握と整理

- ・設計を進めるにあたり、「4章 計画内容の検討及び設定」及び「5章 基本計画図の作成」の計画を中心に再確認を行った。

■ 各種設計条件の整理と確認

- ・設計は、本業務の仕様書に示されている関連上位計画、都市公園関係法令、都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン等に加えて、遊具やバリアフリー、公園施設計画・公園管理計画に関連するの基準書に基づき行うこととする。

■ 現地詳細調査

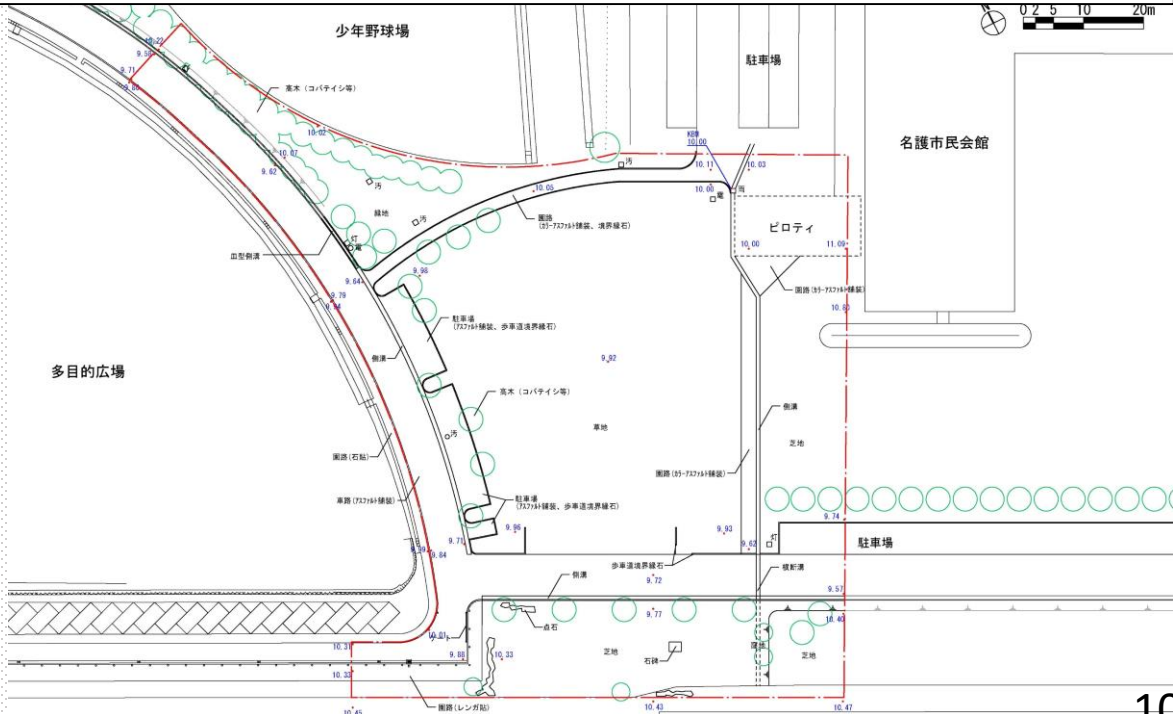
- ・現地詳細調査を行い、既存施設や設備関係、地盤高について確認を行った。整理した図面を下記に示す。



全体現況



対象地南側



現地詳細調査

【第7章】 諸施設の検討および設定

■敷地・施設容量からみた利用者数の検討と設定

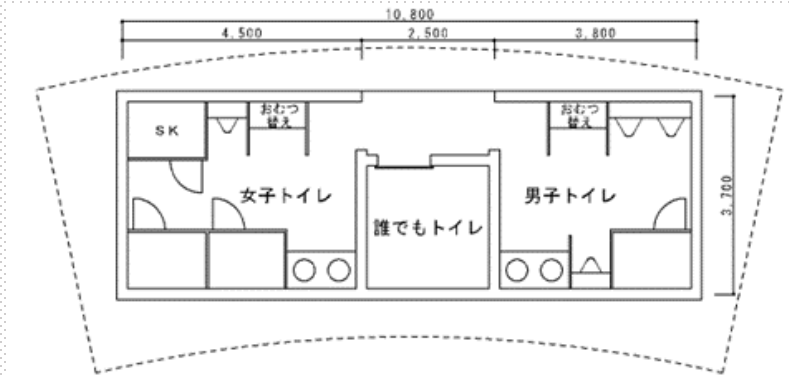
- ・「都市公園利用実態調査」の内容を踏まえて、公園利用者の算定を行い、駐車場及びトイレの規模を算定した。算定の結果、駐車場は20台、トイレは4穴となった。

■空間構成・景観・意匠等に関する基本方針の検討と設定

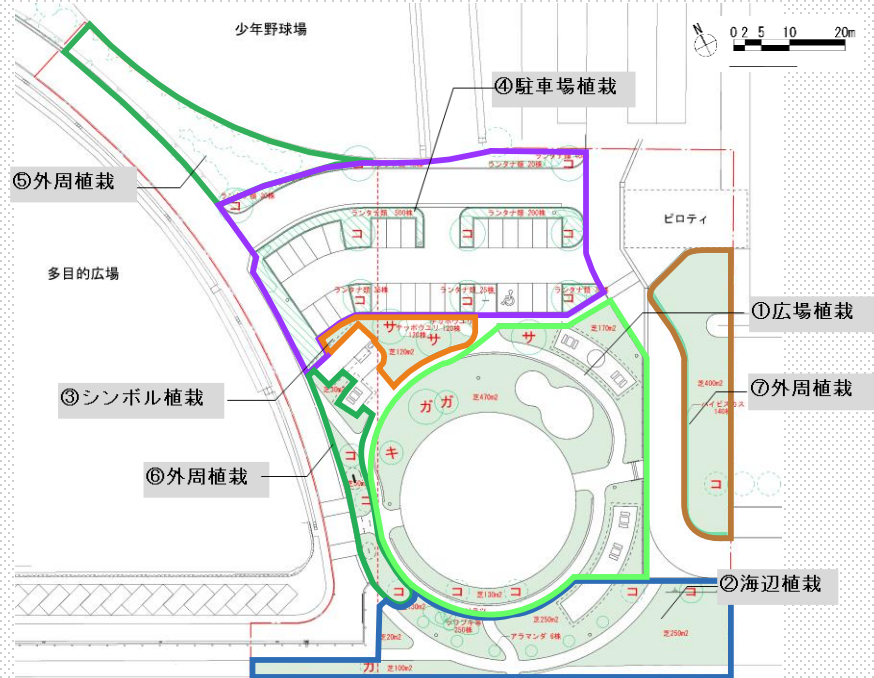
- ・沿岸部の開放的な水辺の自然景観と周辺の21世紀の森公園の豊かな自然環境を阻害しない、デザイン・色調を基本とする。
- ・利用者が直接触れる可能性のある部分（ベンチ座面等）は、居心地の良さと安全性に配慮した素材・デザインを基本とする。

■植栽基本方針の検討と設定

- ・芝生を主体に全体的に見通しの良い広場とし、外周部分はコバテイシを部分的に残し、21世紀の森公園や市民会館との植栽の連続性を確保する。



トイレモデルプラン



○ 既存樹
(または既存移植)

植栽基本方針

【第7章】 諸施設の検討および設定

■ 整備水準・目標工事費の検討と設定

- ・大型遊具ゾーン、幼児遊びゾーン、見守りゾーン、トイレ・手洗いゾーン、健康ゾーン、駐車ゾーン、園路の整備水準について設定を行った。

■ 維持管理 基本方針の検討と設定

- ・各ゾーンの維持管理の内容について整理を行った。対象地全域の維持管理としては、日常の清掃やベンチ等の公園施設や園路等の安全点検、草刈り等の植栽管理が必要である。また、幼児も使用する施設であるため、猫のフン等の対策や清掃も重要である。

■ 施設整備による効果と目標値の設定

- ・施設整備の効果は、名護湾沿岸基本計画及び同計画等を基に設定したコンセプトを踏まえ、施設整備の結果、コンセプトが達成されることによる効果を設定した。

施設整備の効果

施設整備の結果コンセプトを達成した状態

効果①：健康で幸せ（健幸）になれる場の形成

市民（子どもと大人）が対象地で楽しい時間を過ごしている。

効果②：来訪・定住の魅力の向上

観光客（県内外客）が対象地を目的地として認知され、利用されている。

効果③：交流が生まれる居心地の良い空間の創出

対象地に滞在する市民（子ども・大人・地域住民等）と観光客の交流が生まれ、対象地を含む21世紀の森公園周辺エリアが賑わっている。

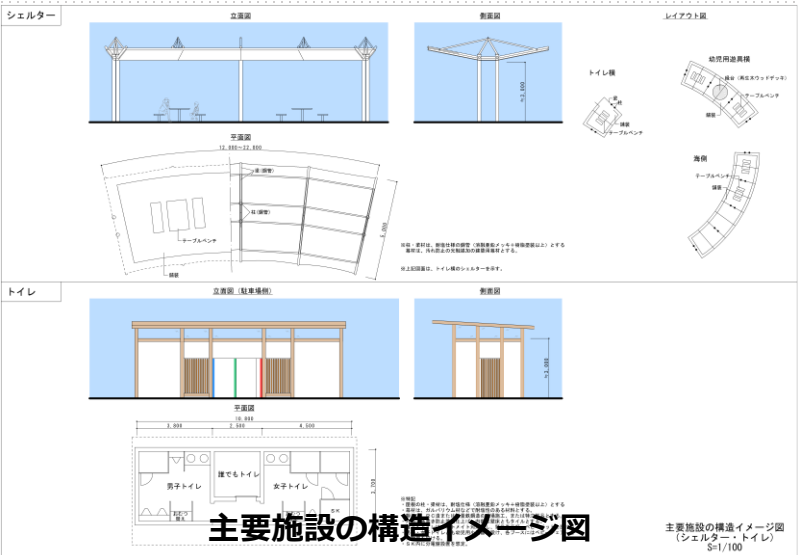
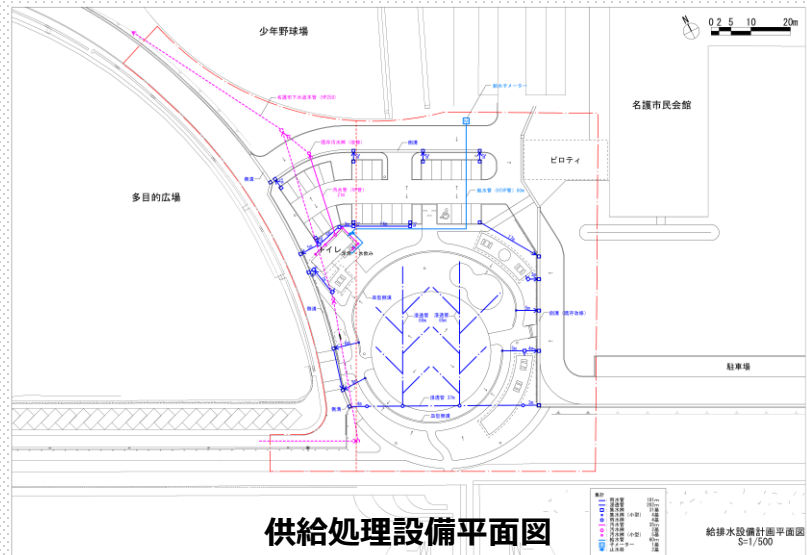
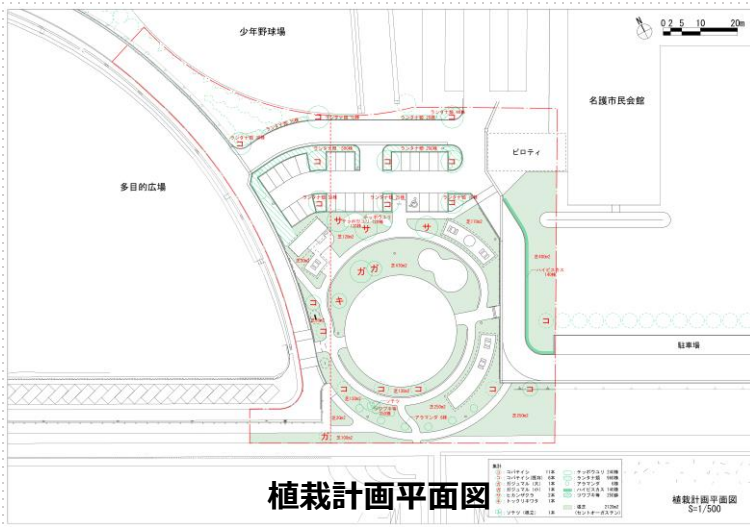
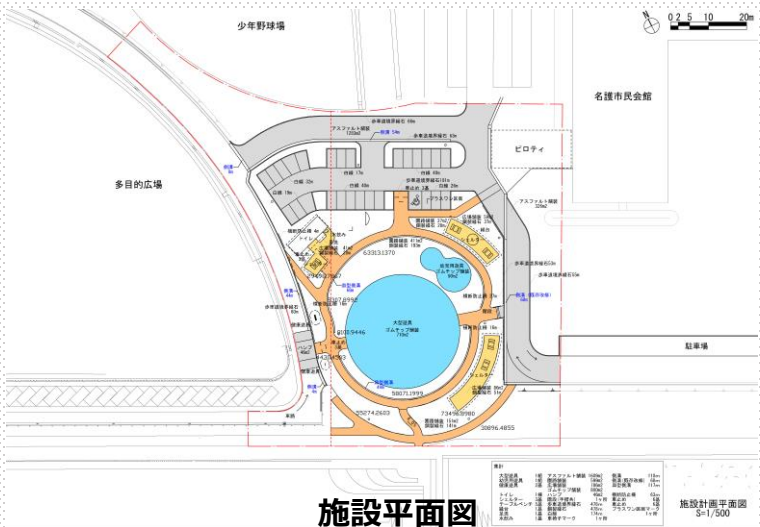
【第7章】 諸施設の検討および設定

| 効果 | 指標 | 指標の説明 | 把握手法 | 基準値 | | 目標値 |
|---------------------------------------|-----------------------|----------------------------------|------------------------|-----|---|--|
| 効果①： 健康で幸せ (健幸)に なれる場の 形成 | 子どもを連れて遊びに行く場所としての認知 | 「子どもを連れて遊びに行きたい」と思う市民の割合 | 市民アンケート (子ども連れを対象) | 59% | 「21世紀の森公園に子どもを連れて遊びに行きたい」と回答した市民の割合(R4.11調査) | 92% 「21世紀の森公園に大型遊具が設置された場合、子供を連れて遊びに行きたい」と回答した割合(R4.11調査)を採用 |
| 効果②： 来訪・定住 の魅力の向上 | 旅先で子どもを連れて立寄る場所としての認知 | 旅先で子どもを連れて遊びに行く場所として認知されている割合 | 観光客アンケート (子ども連れを対象) | 62% | 「21世紀の森公園を知っていて訪れたことがある」と「知っているが訪れたことがない」と回答した観光客の合算割合(R4.11調査) | 75% 名護市を訪れる子ども連れの観光客の4人に3人が認知している状態を想定 |
| 効果③： 交流が生まれる居心地の良い空間の創出 | 賑わいの実感 | 対象地を含む「21世紀の森公園が賑わっている」と感じる市民の割合 | 市民アンケート (子ども連れを対象) | 36% | 「21世紀の森公園に賑わいを感じる」と回答した市民の割合(R4.11調査) | 50% 子ども連れの市民の半分が賑わっていると感じている状態を想定。 |

【第8章】設計図の作成

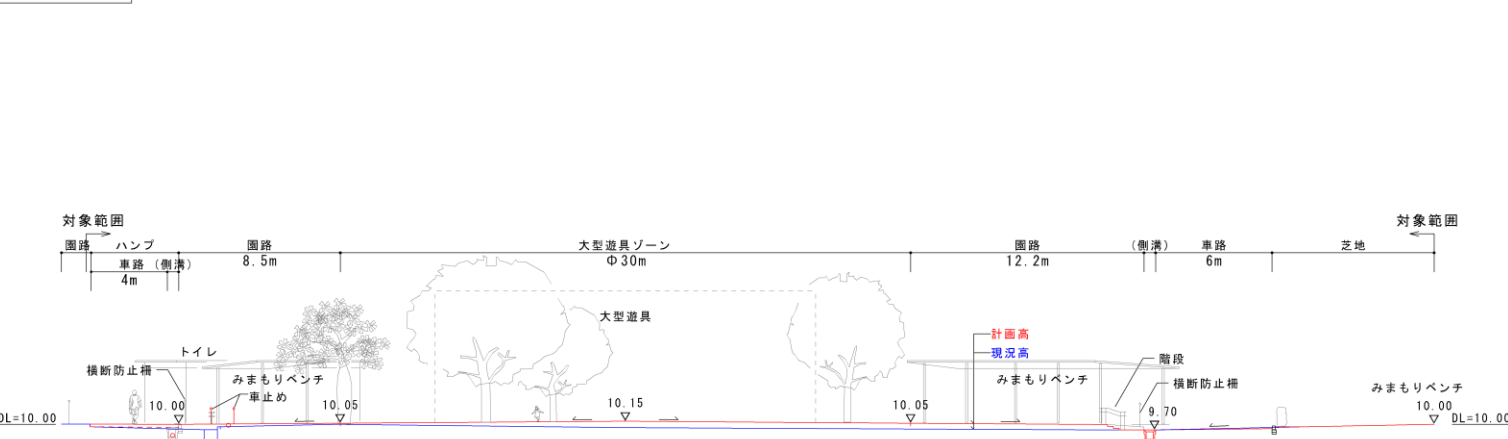
■ 設計図の作成

・ 全体平面図、施設計画平面図、植栽計画平面図、供給処理設備平面図、主要断面図、主要施設の構造イメージ図の作成を行った。

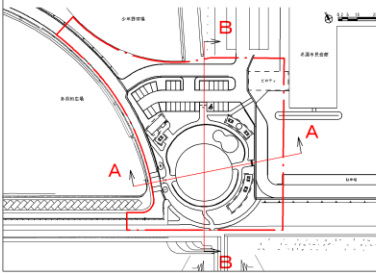


【第8章】設計図の作成

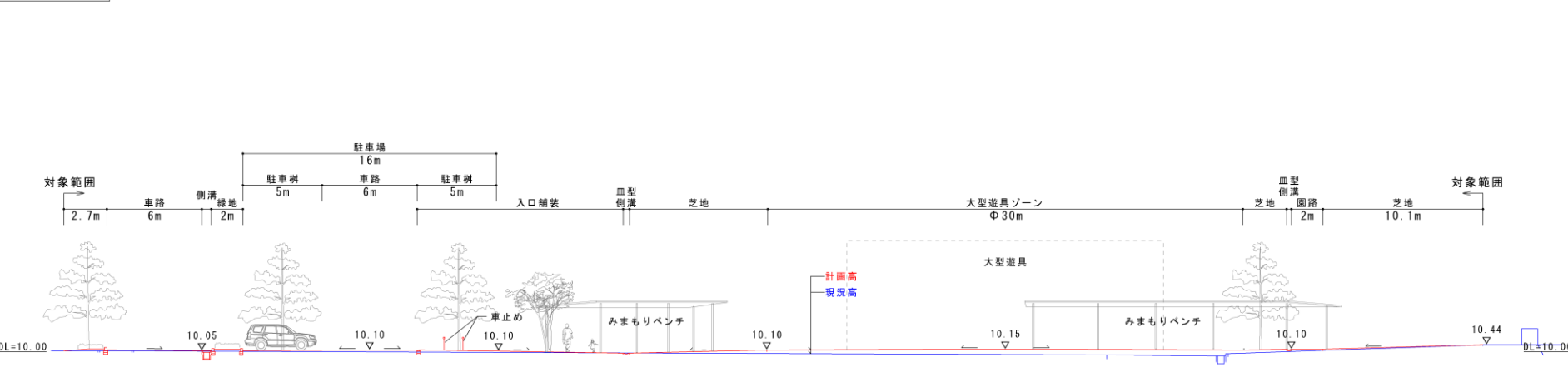
A-A断面



Key-Plan



B-B断面



標準断面図

主要断面図
S=1/250

【第8章】設計図の作成

■イメージパース

- ・鳥瞰図1枚、利用イメージ図1枚の作成を行った。



鳥瞰図



利用イメージ図

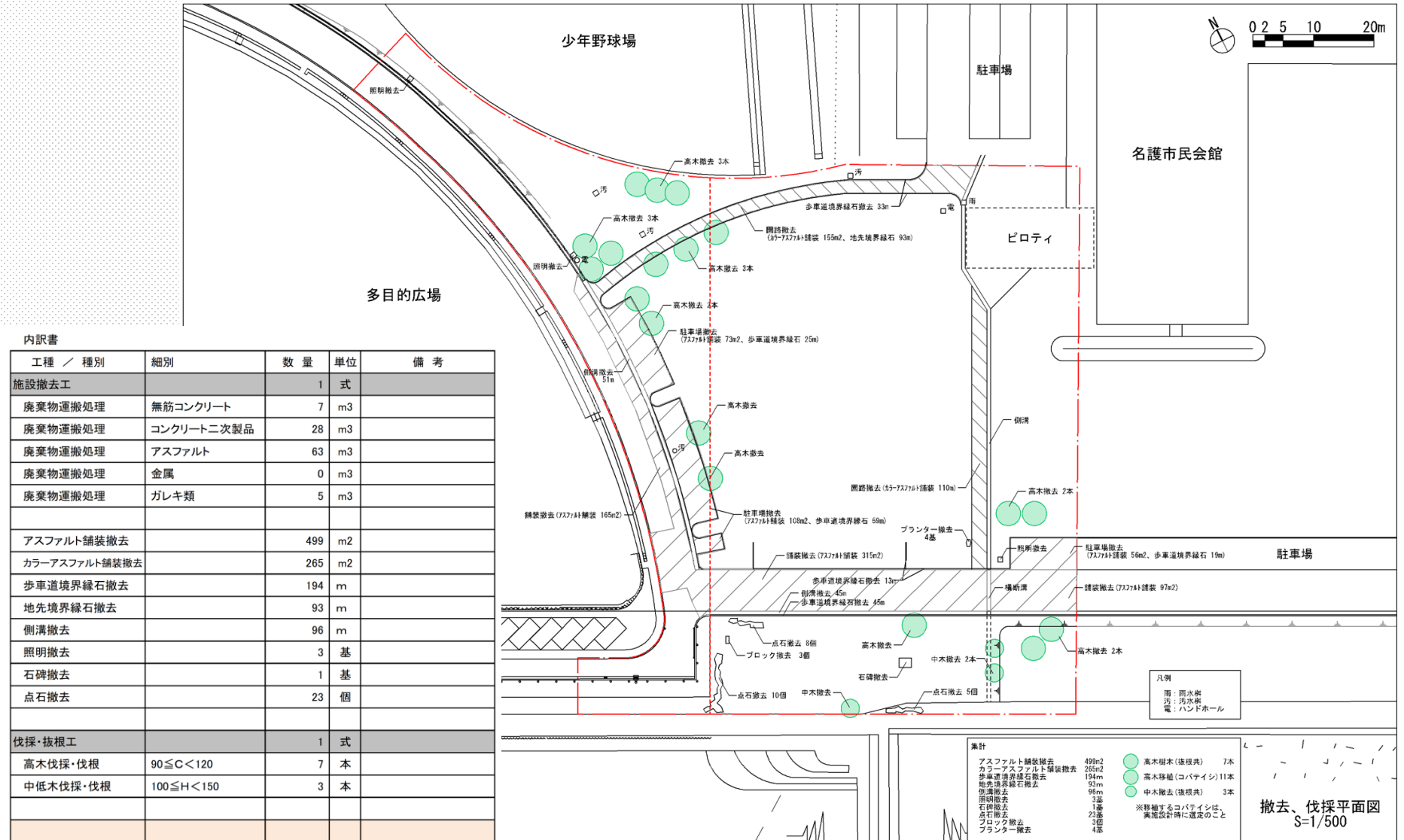
【第9章】概算工事費の算出

| 工種 / 種別 | 細別 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---------------|------------------|-------|----|-------------|-------------|-------------|
| 施設撤去工 | | 1 | 式 | | | 5,490,000 |
| 廃棄物運搬処理 | 無筋コンクリート | 7 | m3 | 20,000 | 140,000 | |
| 廃棄物運搬処理 | コンクリート二次製品 | 28 | m3 | 30,000 | 840,000 | |
| 廃棄物運搬処理 | アスファルト | 95 | m3 | 25,000 | 2,375,000 | |
| 廃棄物運搬処理 | 金属 | 0 | m3 | 10,000 | 0 | |
| 廃棄物運搬処理 | ガレキ類 | 5 | m3 | 30,000 | 150,000 | |
| アスファルト舗装撤去 | | 814 | m2 | 1,500 | 1,221,000 | |
| カラーアスファルト舗装撤去 | | 265 | m2 | 1,500 | 397,500 | |
| 歩車道境界線石撤去 | | 194 | m | 500 | 97,000 | |
| 地先境界線石撤去 | | 93 | m | 500 | 46,500 | |
| 側溝撤去 | | 96 | m | 1,000 | 96,000 | |
| 照明撤去 | | 3 | 基 | 20,000 | 60,000 | |
| 石碑撤去 | | 1 | 基 | 10,000 | 10,000 | |
| 点石撤去 | | 23 | 個 | 1,000 | 23,000 | |
| ブロック撤去 | | 3 | 個 | 10,000 | 30,000 | |
| プランター撤去 | | 4 | 個 | 1,000 | 4,000 | |
| 伐採・抜根工 | | 1 | 式 | | | 186,000 |
| 高木伐採・伐根 | 90≦C<120 | 18 | 本 | 10,000 | 180,000 | |
| 中低木伐採・伐根 | 100≦H<150 | 3 | 本 | 2,000 | 6,000 | |
| 土工 | | 1 | 式 | | | 300,000 |
| 整地 | 機械 | 600 | m3 | 500 | 300,000 | |
| 公園施設工 | | 1 | 式 | | | 536,910,300 |
| 大型遊具(平均値) | | 1 | 組 | 215,000,000 | 215,000,000 | |
| 幼児用遊具 | | 1 | 組 | 20,000,000 | 20,000,000 | |
| 健康遊具 | | 2 | 基 | 500,000 | 1,000,000 | |
| トイレ | | 1 | 棟 | 30,000,000 | 30,000,000 | |
| シェルター | | 3 | ヶ所 | 70,000,000 | 210,000,000 | |
| テーブルベンチ | | 5 | 組 | 700,000 | 3,500,000 | |
| 縁台 | | 1 | 基 | 350,000 | 350,000 | |
| 足洗 | | 1 | ヶ所 | 2,000,000 | 2,000,000 | |
| 水飲み | | 1 | 基 | 500,000 | 500,000 | |
| アスファルト舗装 | 5・20・20程度 | 1,609 | m2 | 1,500 | 2,413,500 | |
| 園路舗装 | 透水性アスコン+土系カラーコート | 600 | m2 | 10,000 | 6,000,000 | |
| 広場舗装 | 自然石乱張り | 186 | m2 | 15,000 | 2,790,000 | |
| ゴムチップ舗装 | 透水性 厚5cm | 800 | m2 | 20,000 | 16,000,000 | |
| ハンブ | アスファルト舗装 | 46 | m2 | 1,500 | 69,000 | |
| 階段(手摺共) | | 1 | ヶ所 | 300,000 | 300,000 | |
| 歩車道境界線石 | | 478 | m | 7,000 | 3,346,000 | |
| 鋼製線石 | | 483 | m | 10,000 | 4,830,000 | |
| 白線 | | 174 | m | 200 | 34,800 | |
| 車椅子マーク | | 1 | ヶ所 | 1,000 | 1,000 | |
| バスワン区画マーク | | 1 | ヶ所 | 1,000 | 1,000 | |

| 工種 / 種別 | 細別 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|-------------|------------------|-------|----|-----------|------------|-------------|
| 側溝 | | 110 | m | 150,000 | 16,500,000 | |
| 側溝(既存改修) | 蓋付け替え程度 | 68 | m | 5,000 | 340,000 | |
| 皿型側溝 | | 117 | m | 10,000 | 1,170,000 | |
| 横断防止柵 | | 63 | m | 5,000 | 315,000 | |
| 車止め | | 9 | 基 | 50,000 | 450,000 | |
| 電気設備設置備工 | | 1 | 式 | | | 13,910,000 |
| 電線管 | FEP30程度、埋設標示シート共 | 660 | m | 8,000 | 5,280,000 | |
| 電線 | EM-CE5.5sq-2C程度 | 720 | m | 1,500 | 1,080,000 | |
| ハンドホール(改修) | 蓋付け替え程度 | 1 | 基 | 50,000 | 50,000 | |
| ハンドホール | | 5 | 基 | 100,000 | 500,000 | |
| ポール灯(LED) | 水銀ランプ250W相当程度 | 9 | 基 | 700,000 | 6,300,000 | |
| 遊具用投光器(LED) | | 3 | 基 | 50,000 | 150,000 | |
| 屋根用投光器(LED) | | 11 | 基 | 50,000 | 550,000 | |
| 植栽工 | | 1 | 式 | | | 16,130,500 |
| コバティン | 移植 支柱共 | 11 | 本 | 50,000 | 550,000 | |
| コバティン(既存) | | 6 | 本 | 0 | 0 | |
| ガジュマル(大) | H10m 支柱共 | 1 | 本 | 3,000,000 | 3,000,000 | |
| ガジュマル(小) | H7m 支柱共 | 2 | 本 | 1,500,000 | 3,000,000 | |
| ヒカンザクラ | H7m 支柱共 | 3 | 本 | 500,000 | 1,500,000 | |
| トックリキワタ | H7m 支柱共 | 1 | 本 | 500,000 | 500,000 | |
| ソテツ(株立) | H1.5m | 1 | 本 | 10,000 | 10,000 | |
| テッポウユリ | | 240 | 株 | 200 | 48,000 | |
| ランタナ類 | | 965 | 株 | 1,500 | 1,447,500 | |
| アラマンダ | H1m | 6 | 株 | 10,000 | 60,000 | |
| ハイビスカス | H1m | 140 | 株 | 10,000 | 1,400,000 | |
| ツツブキ等 | | 250 | 鉢 | 1,500 | 375,000 | |
| 張芝 | 1970m2 セントオーガスチン | 2,120 | m2 | 2,000 | 4,240,000 | |
| | | | | | 直工計 | 578,969,800 |

【第10章】撤去等方針検討及び関係図の作成

- 基本計画図の内容を踏まえて、舗装、縁石、側溝、照明、石碑、点石、植栽の撤去を行う。
- 撤去関係図の作成及び撤去等数量計算を行った。



撤去等数量計算

撤去関係図

【第11章】インクルーシブデザイン有識者ヒヤリング

▼ヒヤリング内容

- ・インクルーシブデザインの有識者である「NPO法人バリアフリーネットワーク会議」親川法人代表にヒヤリングを行った。

▼ヒヤリング結果

- ・集しやすい場所、**子供が遊んでいる姿を見守れる場所づくりが重要である。また、見守る場所に日陰があると良い。**
- ・大型遊具は死角がしやすいので、見守りスペースと遊具の位置関係は注意が必要である。
- ・北側の方は車の出入りがあり危ないので、大型遊具は出来るだけ南側に配置できると良い。
- ・**トイレ、手洗い場、水飲み場、足洗い場は、駐車場に向かう動線の中にあると良い。**

2.ヒヤリング内容

(1) 目的

<初回(11月18日)>

- ・大型遊具他、整備内容を検討する際に、インクルーシブデザインやユニバーサルデザイン等の視点から、配慮すべき事項の把握。

<第2回(1~2月頃を想定)>

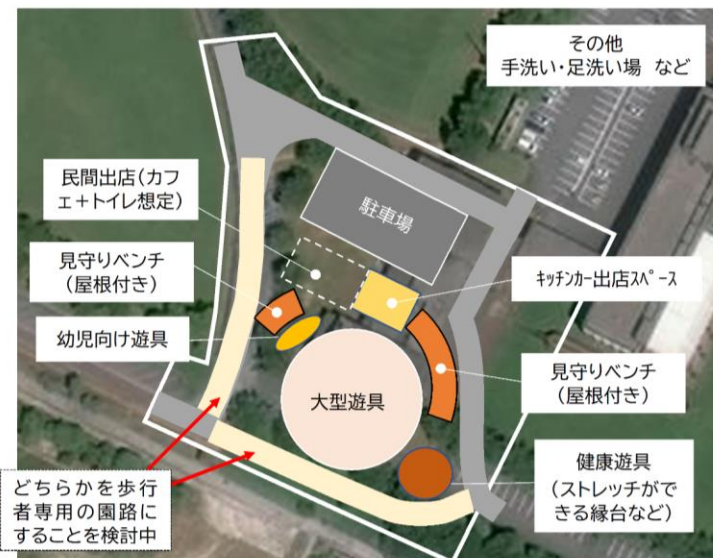
- ・検討した整備計画について、同様の観点から改善点等を把握。

(2) ヒヤリング事項(初回)

①公園において障がいのある子どもの利用(家族連れ、団体等)を想定する場合、配慮すべき事項や導入が必要な機能、設備。

②障がいのある子どもが利用することを想定した遊具(大型のもの含む)の選定において、配慮すべき事項。

③下記配置案(検討中のもの)について、施設の配置として配慮した方がよい事項や追加した方がよい機能、設備。



④県内外で、インクルーシブデザインやユニバーサルデザインの観点で参考となる公園の事例。(ご存知であれば)

⑤公園においてユニバーサルツーリズムの受け入れを行う場合、配慮すべき事項や導入が必要な機能、設備。

⑥公園におけるユニバーサルツーリズムの受け入れの観点で参考となる県内外の事例。(ご存知であれば)

以上

【第12章】アンケート調査

■市民からの要望（アンケート調査より）

▼調査概要

<回収数> 355票
 （イオン名護店：202票、21世紀の森公園：153票）
 <回収方法> 調査員による紙媒体でアンケート
 <期間> 2022/11/24~25

▼調査結果

・【Q.2】「21世紀の森公園に子どもを連れて遊びに行きたいと思う」と回答した方は約60%、「21世紀の森公園に大型遊具が設置された場合、子どもを連れて遊びに行きたいと思う」と回答した方は約90%である。

→大型遊具を設置することで、約30%の集客増を見込むことが出来る。

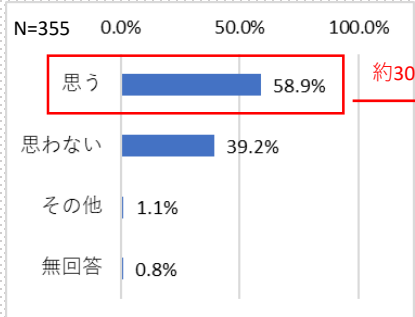
・【Q.3】 1位「トイレ」、2位「子供の年齢に応じた遊具」、3位「日よけのある見守りスペース」、4位「駐車場」、5位「カフェ・売店・キッチンカー」

【Q.1】 回答者属性

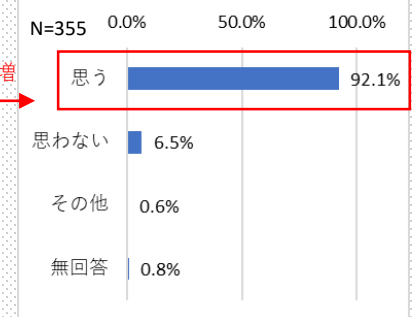
- ①年齢 : 10代 (3.7%) / 20代 (8.5%) / 30代 (29.0%) / 40代 (21.1%) / 50代 (13.2%) / 60代 (13.5%) / 70代以上 (9.6%)
- ②性別 : 男性 (38.6%) / 女性 (56.3%) / 回答しない (3.7%)
- ③居住地 : 名護 (85.9%) / 羽地 (4.2%) / 久志 (1.4%) / 屋部 (4.8%) / 屋我地 (0.0%) / その他 (0.0%)
- ④子どもの年齢層別 : 0歳 (8.3%) / 1歳以上～3歳未満 (29.2%) / 3歳以上～6歳未満 (43.0%) / 6歳以上～13歳未満 (79.9%) / 13歳以上 (1.7%) /

【Q.2】 21世紀の森公園へ子どもを連れて遊びに行きたいか

【現状】

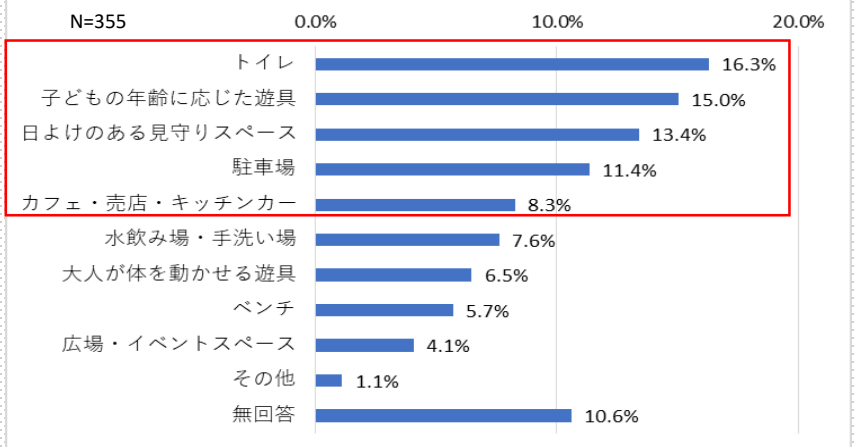


【大型遊具が設置された場合】



約30%増

【Q.3】 大型遊具の近くに必要施設・設備



【第12章】アンケート調査

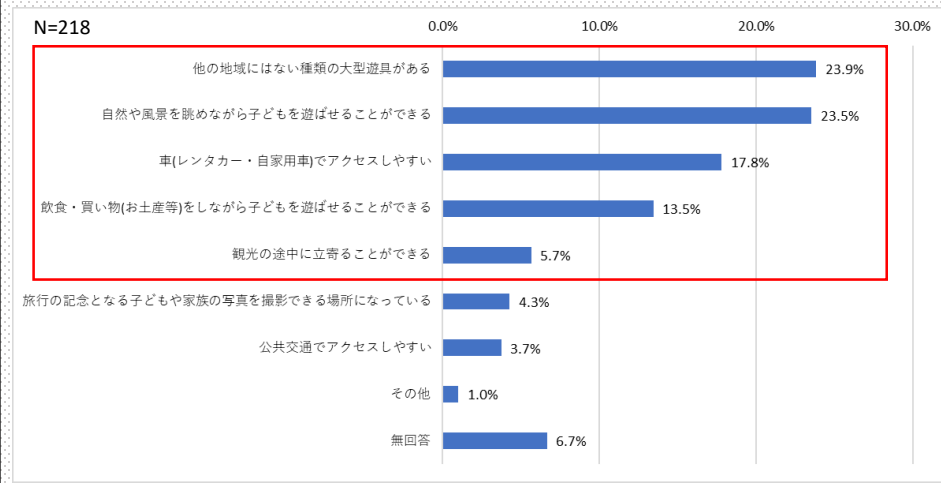
■観光客からの要望（アンケート調査より）

▼調査概要
＜回収数＞
234票（道の駅許田）
＜回収方法＞
調査員による紙媒体でのアンケート
＜期間＞
2022/11/25～26

▼調査結果

- ・【Q.2】1位「他の地域にはない種類の大型遊具がある」、2位「自然や風景を眺めながら子どもを遊ばせることができる」、3位「車(レンタカー・自家用車)でアクセスしやすい」、4位「飲食・買い物(お土産等)をしながら子どもを遊ばせることができる」、5位「観光の途中に立寄ることができる」

【Q.2】旅先で立寄りたいと思う公園



【Q.1】回答者属性

- ①年齢
10代 (0.9%) / 20代 (8.1%) / 30代 (41.5%) / 40代 (30.3%) / 50代 (7.7%) / 60代 (9.4%) / 70代以上 (2.1%)
- ②性別
男性 (33.8%) / 女性 (62.4%) / 回答しない (3.8%)
- ③居住地
沖縄県内 (60.3%) / 沖縄県外 (39.7%)
- ④子どもの年齢層別
0歳 (3.0%) / 1歳以上～3歳未満 (24.2%) / 3歳以上～6歳未満 (55.4%) / 6歳以上～13歳未満 (71.0%) / 13歳以上 (1.7%)

【第12章】アンケート調査

■小学生アンケート

▼調査概要

＜対象＞ 名護市5地区から抽出した小学校の全児童2,165人

＜回収数＞ 1,370票

＜回収率＞ 63.3%

＜配布・回収方法＞

Google FormsによるWeb配信・回答

＜期間＞ 2023/2/10~2/17

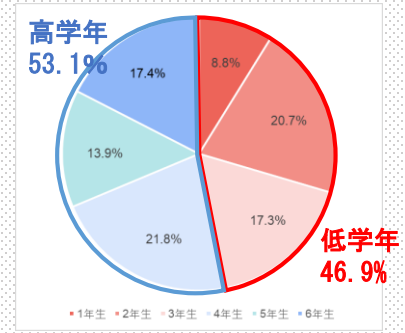
▼調査結果

- ・【Q.1,2】 羽地、屋部、大宮小学校が50%を超える回収率で、低学年・高学年の回答割合は同程度
- ・【Q.3】 遊びたい遊具の種類は、1位「ぶらさがって動いてあそぶ」、2位「のぼって高いところで遊ぶ」、3位「ジャンプしてあそぶ」、4位「ネットをのぼってあそぶ」
(※自由回答では「ブランコ」が215票 (全数の約16%) で最も多い)
- ・【Q.4】 遊びたい遊具の色は、1位「いろいろな色」、2位「木の色」、3位「青色」、4位「赤色」

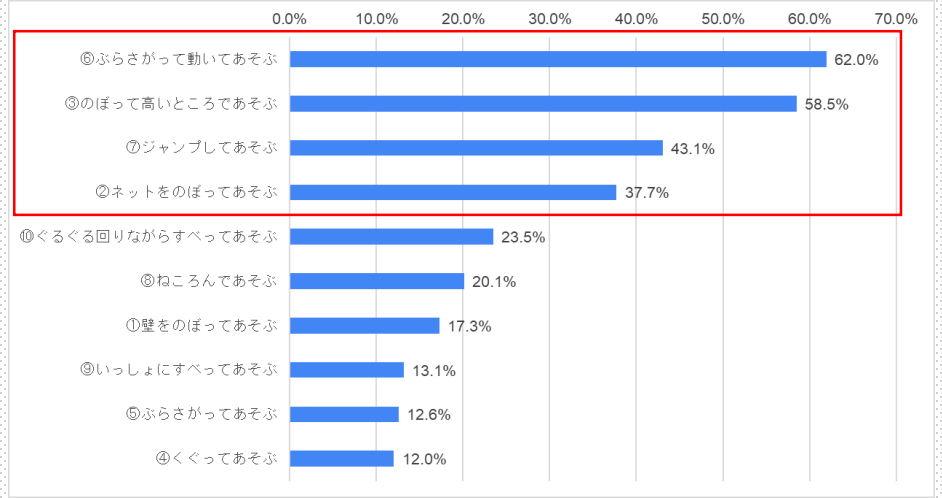
【Q.1】 各小学校の回収数

| | 回答数 | 児童数 (人) | 回収率 |
|-------|------|---------|-------|
| ひるぎ学園 | 61 | 128 | 47.7% |
| 羽地小学校 | 304 | 354 | 85.9% |
| 屋部小学校 | 403 | 723 | 55.7% |
| 大宮小学校 | 576 | 858 | 67.1% |
| 緑風学園 | 26 | 102 | 25.5% |
| 合計 | 1370 | 2165 | 63.3% |

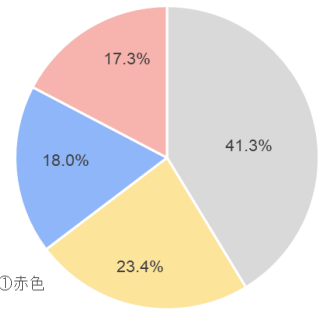
【Q.2】 回答者の学年



【Q.3】 どんな遊具で遊びたいか



【Q.4】 どの色の遊具で遊びたいか



【第13章】 先進地視察

■ 全国事例及び県内事例の収集

全国事例及び県内事例の整理を行った。

【全国事例】

- ・ まちなか広場／長浜海浜公園／岩ヶ池公園 / 大和ゆとりの森／みきっこランド／つくみん公園／響灘緑地

【県内事例】

- ・ 道の駅ぎのぞ／浦添大公園／東崎都市緑地(イルカ公園) / 沖縄県総合運動公園／中城公園／安良波公園／国営沖縄記念公園(海洋博公園)

■ 先進地視察

- ・ 安全面に配慮するため、**年齢別のゾーニング**を行えるとよい。
- ・ 外国製の部材を使うと、修理部品の納品の目途が立ちにくいので、**国内で製造できるものを**提案の前提にすると良い。
- ・ **遊具の塩害対策**を、遊具メーカーからの提案の前提にすると良い。

▼大和ゆとりの森（神奈川県大和市）



▼長浜海浜公園（静岡県熱海市）



21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進計画策定業務 概要版
令和5年3月
名護市